

令和 6 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 8 年 7 月 16 日作成

大 学 名 : 新潟国際情報大学

タイトル : 「すれ違い」から考える多文化共生～相互理解の先にある共生のかたち～

1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
	 ① 貧困をなくそう		 ⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに		 ⑬ 気候変動に 具体的な対策を
	 ② 飢餓をゼロに		 ⑧ 働きがいも 経済成長も		 ⑭ 海の豊かさを 守ろう
	 ③ すべての人に健康と 福祉を		 ⑨ 産業と技術革新の 基盤をつくろう		 ⑮ 陸の豊かさも 守ろう
	 ④ 質の高い教育を みんなに	☐	 ⑩ 人や国の不平等 をなくそう	☐	 ⑯ 平和と公正を すべての人に
	 ⑤ ジェンダー平等を 実現しよう	☐	 ⑪ 住み続けられる まちづくりを	☐	 ⑰ パートナリーシップ で目標を達成しよう
	 ⑥ 安全な水とトイレを世 界中に		 ⑫ つくる責任 つかう責任		

2 : 本ワークショップの要旨

近年、日本に暮らす外国人が増え、地域に解きこむ一方で、ルールや騒音をめぐる摩擦も生じています。その背景には、文化や生活習慣、情報の伝わり方の「すれ違い」があります。しかし、この「すれ違い」は、外国人と日本人の間だけでなく、日本人どうしの間でも起こります。本ワークショップでは、まず互いの背景を知ることの大切さを学びます。そのうえで、「相互理解」だけでは乗り越えられないものにも向き合い、「違い」を前提とした「共生」のかたちを、一緒に考えていきます。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・ お互いの背景の違いを知る
- ・ 相互理解だけでは乗り越えられないものに向き合う
- ・ 違いを前提とした共生のかたちを考える

4 : 本トピックをとりあげる理由

近年、日本に住む外国人が増え続けており、法務省によると令和 7 年度末における在留外国人の数は、412 万 5,395 人となり過去最高を記録するとともに 400 万人を超えた。これから外国人と共に暮らす上で「多文化共生」という考えは必要不可欠で大切なものだと考えるため。

5 : 活動過程

(使用時間 : 60 分

参加人数 : 10 人 2 班構成)

過 程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される 反応、その他 注意事項
導 入 : 起 (9 分)	<u>挨拶</u> (4 分)	大学生の自己紹介 班で自己紹介 ・名前 ・行きたい国 目的とルール 流れの発表		名札シール ペン	
	<u>IB : サイレント リング</u> (5 分)	①お題を出す。 ②お題をもとに 順番になるよう に並ぶ ③順番通りに並 ぶことができれ ば成功 ※声を出しては いけない。(身振 り手振りで相手 に伝える) (問題数 3 問) ・誕生日順 ・起きた順 ・寝た順	身振り手振りの みで相手に伝え ることで、お互 いに理解しよう という姿勢を示 唆する。	なし	声を出す。

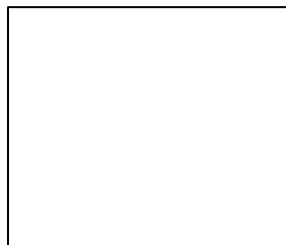
展開：承 (12分)	<u>テーマの発表</u> (1分)	多文化共生の定義			
	<u>フォトランゲージ</u> (6分)	・「外国人」のイメージと「外国人」をどこで見えるのかを聞く	現時点で日本に、どのような外国人がいて	・2種類の写真（外国人が働いている姿）	
	・ワーク (2分)	・各班に一枚ずつ写真とその背景の説明が書かれている紙を配布	どのようなすれ違いやその背景があるのかを知ってもらう。	・ふせん	
	・ギャラリーウォーク (1分)		日本で働く外国人が日本にとって必要不可欠な存在であることを示す		
	写真の解説 (1分)				
	<u>知識</u> (2分)	・日本にいる在留外国人の数	身近にどれくらいに日本に住む外国人が多いかを知ってもらうため		
		・新潟にいる在留外国人の数			
		・排外主義的風潮について触れる			
	<u>すれ違いについて</u> (3分)	①すれ違いの定義	知ってもなお許容されづらいものを提示して、		
		②どのような「すれ違い」があるのか	参加者に共生の在り方を考えてもらう。		
		③その「すれ違い」の背景に何があるのか			
		④相互理解だけでは乗り越えられないものを提示する			
	(休憩)				

発 展 : 転 (34 分)	<u>ルームシェアゲーム！</u> (34 分) ①ルール説明 (3 分) ②ワーク (15 分) ③ギャラリーウォーク (3 分) ④ルームシェアゲームの振り返り(10 分) 多文化共生の例 (3 分)	ルールの説明をする。 ワークをする ギャラリーウォークをする ・ 難しかったこと ・ 解決できたこと ・ 解決するためにしたこと ・ 多文化共生をするためになにをすればいいか 国、自治体がやっていることの例を紹介する	実際にどうすれば共生をすることができるのかをルームシェアで起こりそうな問題を通じて、参加者に考えてもらう実践してもらう ほかの班の意見を見て、ほかの共生の在り方を見てもらう すれ違いは誰にでも起こりうる 日本や自治体レベルの共生の在り方を知ってもらい、知識を保管してもらう	模造紙 ふせん 振り返りシート	
-------------------------------	--	---	--	--------------------------------	--

まとめ：結 (2分)	まとめ(2分)	わたしたちが多 文化共生を実現 するためには常 に違いを前提と して共生の形を 考えていくこと が大切	参加者に今日や ったことを思い 出してもらう		
予備(3分)		排外主義的風潮 についても触れ る			

6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

スクリーン



7：使用する教材

- ・ フォトランゲージの写真

シェアハウスゲームの道具

- ・ キャラクター紹介の紙
- ・ キャラクター名が書いてある紙
- ・ 模造紙
- ・ 事件カード
- ・ 事件の内容説明の紙
- ・ 自由記述の振り返り用紙

- ・ ペン
- ・ 名札シール
- ・ ワークシート
- ・ PC
- ・ ポインター

8：参考にした資料

公益財団法人新潟県国際交流協会 n.d. 「NIA について」 2026 年 7 月 16 日取得
<https://www.niigata-ia.or.jp/about/#culture>

JICA (2024) 「誰にとっての「騒音」？ 住む視点から「多文化共生」を考える」 2026 年 7 月 13 日取得
https://www.jica.go.jp/cooperation/learn/material/multicultural/_icsFiles/afeldfile/2024/10/15/food_clothing_and_shelter_03.pdf

総務省(2020) 「地域における多文化共生推進プランの改訂について(通知)」 2026 年 7 月 16 日取得
https://www.soumu.go.jp/main_content/000718717.pdf

tv-Tokyo.co.jp 「2026 年 2 月 6 日放送 “外国人労働者” と向き合う | ガイアの夜明け」 2026 年 7 月 16 日取得
https://www.tv-tokyo.co.jp/gaia/backnumber4/preview_20260206.html

新潟県 (2025) 「新潟県内の在留外国人数および外国人労働者数の推移」 2026 年 7 月 16 年取得
https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/life/811451_2601144_misc.pdf

日本経済新聞 (2020 年) 「ローソン、教育役の外国人従業員に研修 教え方向上狙う」 2026 年 7 月 16 日取得
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ055694520V10C20A2EA5000/?msockid=1ae7c1b56c6c6e4a3e3cd47f6dfb6f34>

東京都つながり創生財団「TIPSー公益財団法人 東京都つながり財団」 2026 年 7 月 16 日取得
<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/>

法務省 (2025) 「令和 7 年度末現在における在留外国人数について」 2026 年 7 月 16 日取得
https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00062.html

四街道市 「四街道市多文化共生市民意識調査報告書」 2026 年 7 月 16 日取得
https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shisei/torikumi/koso/tayousei/tabunnkakyousei_i_plan/tabunka_surveyreport.files/tabunka_surveyreport.pdf

9：その他